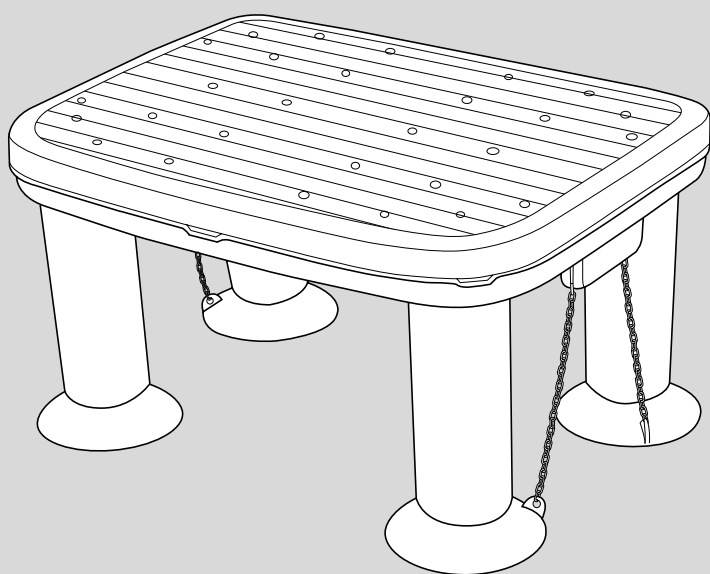
浴槽台（15H・20H）
取扱説明書

このたびは浴槽台（15H・20H）を
お求めいただきまして、
まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、
ご使用前に必ずお読みください。

もくじ

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

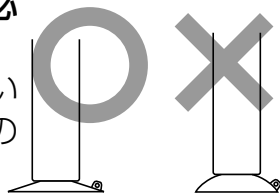
誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

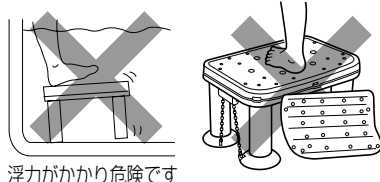
⚠ 注意

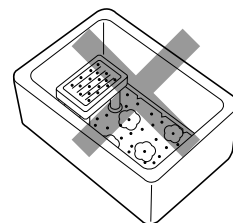
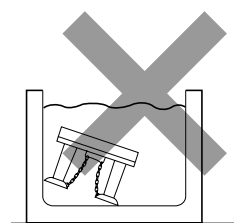
浴槽内では4つの吸盤が固定されているか必ず確認すること
1つでも固定されていないと転倒し、けがの原因になります。

使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと

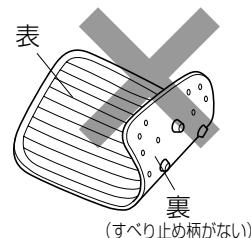
追焚付給湯器や、直焚浴槽、お湯が循環している浴槽（24時間風呂）で使用する場合は、湯沸かしが完了してから設置すること
プラスチックが変形または破損したり、吸盤の吸着力が低下し、転倒やけがの原因になります。

使用後は浴槽から取り出すこと
温水につけたままでは、プラスチックの劣化が早まり、変形または破損して、転倒やけがの原因になります。

浴槽内以外では使用しないこと

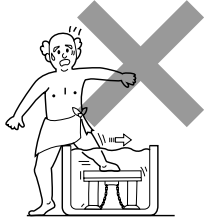
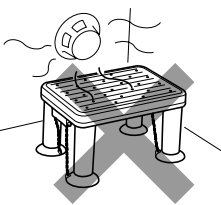
吸盤・シートを外したままで使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

浮力がかかり危険です

すべり止めマットやスノコ等の上、底部が平面でない浴槽、また浴槽のノンスリップ加工部分に浴槽台の吸盤がかかる状態では使用しないこと
吸盤が付かなかったり、外れたりして、転倒し、けがの原因になります。

浴槽内の不安定な場所には置かないこと
転倒し、けがの原因になります。

浴槽台と浴槽の底面にぬめりや汚れが付着したままで使用しないこと
滑って転倒し、けがの原因になります。

シートは裏返して使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

天面の端に足を置かないこと
転倒し、けがの原因になります。

安全上のご注意

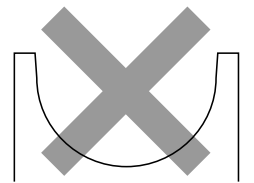
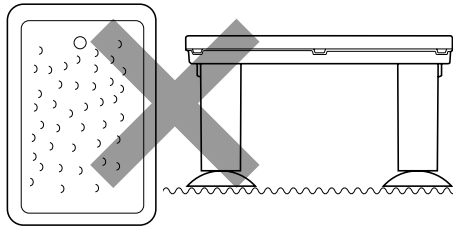
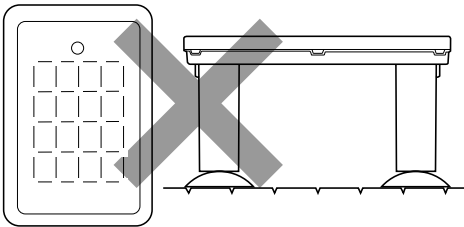
⚠ 注意

浴槽台の上で横方向に、強く力を加えないこと
本体が移動し、転倒やけがの原因になります。

沸き出し口にかかる位置に置かないこと
プラスチックが変形または破損し、けがの原因になります。

底部から気泡が出る浴槽や、木製・タイル張りの浴槽では使用しないこと
吸盤が外れ、転倒やけがの原因になります。

体重100kg以上の方は使用しないこと
本体が破損する恐れがあります。

他の用途では使用しないこと
けがの原因になります。

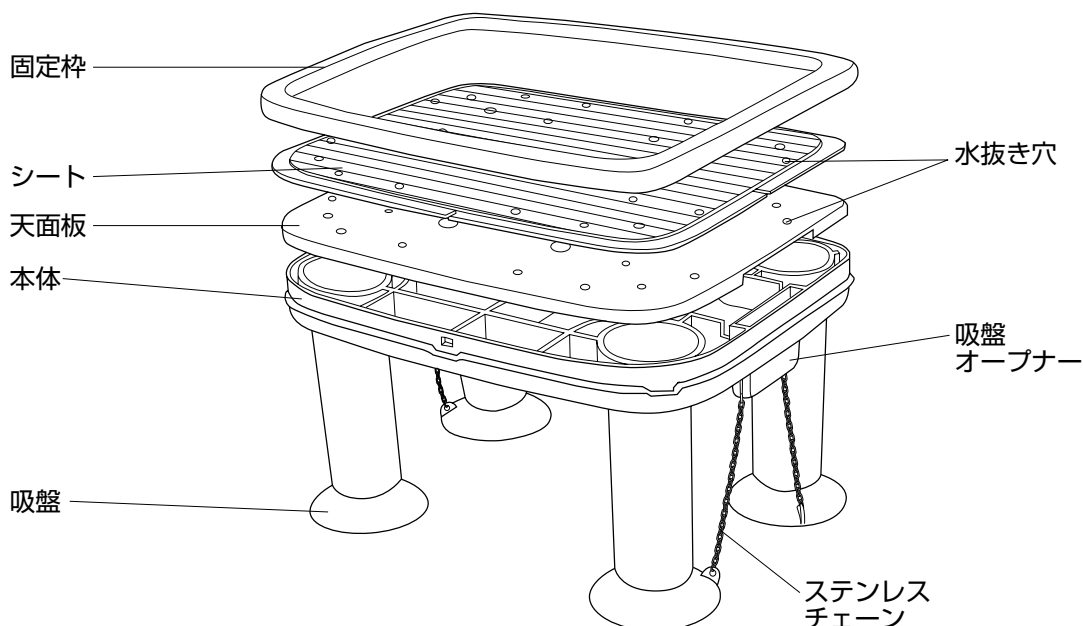
取りつけの前に

取りつけ不可能な浴槽

浴槽の底にすべり止めの凹凸がある。

浴槽の底に凹凸を感じる傷やザラツキがある。

丸みのある浴槽

⚠ 注 意	**底部から気泡が出る浴槽や、木製・タイル張りの浴槽では使用しないこと** 吸盤が付かなかったり、外れたりして、転倒やけがの原因になります。

各部のなまえ

各部のなまえ

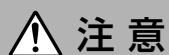
■仕様

品名	浴槽台（15H・20H）	
材質	本体･天面板･固定枠･吸盤オープナー	ポリプロピレン
	シート	エラストマー
	吸盤	エチレンプロピレンゴム
サイズ	15H	40×30×高さ17cm/設置時の高さ 約16cm
	20H	40×30×高さ22cm/設置時の高さ 約21cm
重量	（15H）約2.3kg（20H）約2.5kg	

特長

●天板サイズは両足が収まる安心感のある広さです。
●シートには、滑りにくい素材（エラストマー）を採用しています。また取り外して、洗えます。
●天面はお湯の中でも踏み場所を明確にするため、赤色の枠表示を施しています。
●吸盤は横すべりしにくい特殊な形状を採用しています。また吸着もオープナーで簡単に解除できます。

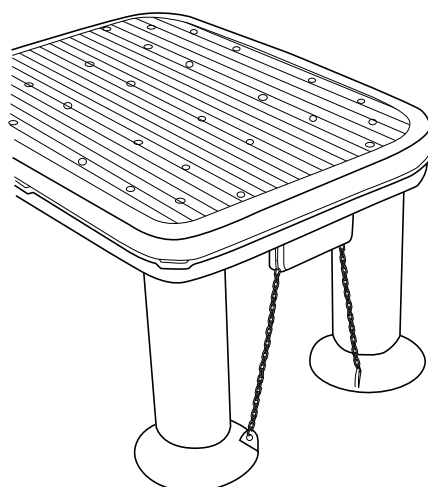
使いかた

ご使用中に吸盤が平らに変形し吸着しにくくなった場合は、吸盤を熱湯に5～6分程度つけておくと形がもとに戻り、吸着力は回復します。

⚠注 意 **45℃以上では使用しないこと**
プラスチック（特に吸盤）が劣化して破損しやすくなり、けがの原因になります。

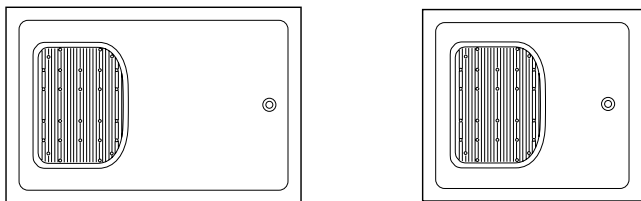
組みたて

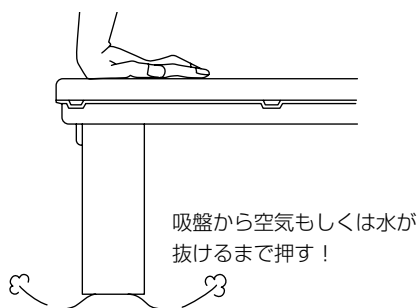
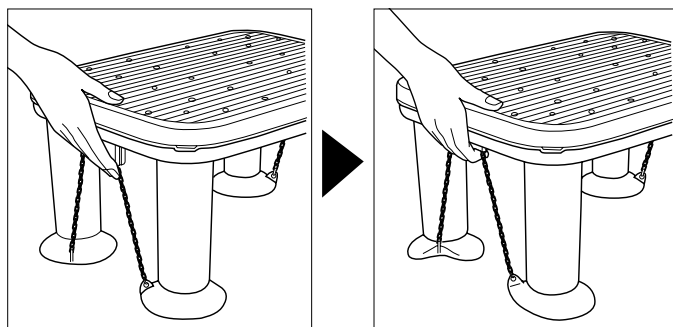
※開封時は組み立てられており、この作業は不要です。お手入れで外した場合に行ってください。

1 脚部底面の吸盤差し込み穴と、吸盤の差し込み部の向きを確認します。

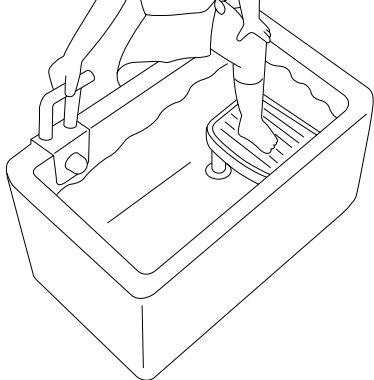
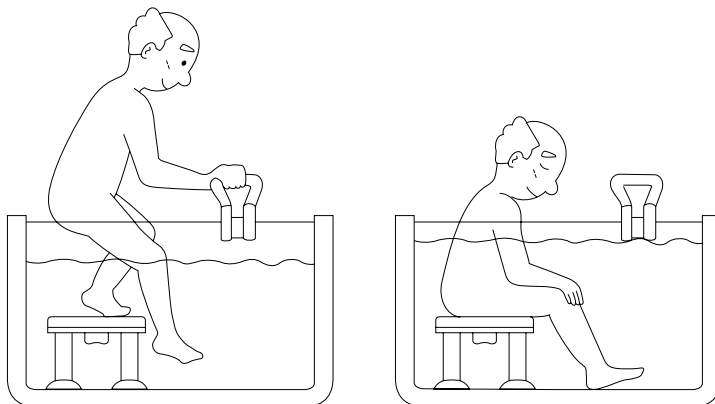
2 吸盤とチェーンの接続箇所が、吸盤オープナーの真下にくる位置に吸盤を取りつけます。このとき、チェーンがねじれないように注意しながら、吸盤が完全に固定するまで押し込んでください。

使いかた

取りつけ

1 浴槽台は基本的に浴槽の排水口と反対の位置に、正しい向きで設置してください。

注意
給水口、給湯口、蛇口の近くで使用しないこと
やけどの原因になることがあります。
排水口の近くに設置する場合は、止水栓の鎖に注意すること

2 吸盤が浴槽の底に吸いつくまで、両手でしっかりと押さえてください。

3 浴槽台を浴槽から取り外す（吸盤解除）ときは、座面の左右にある吸盤オープナーを軽く握ってください。ステンレスチェーンが引っ張られ、吸盤が解除されます。

注意
吸着を解除しない状態で本体を持って、無理に引っ張らないこと
脚から吸盤が外れることがあります。

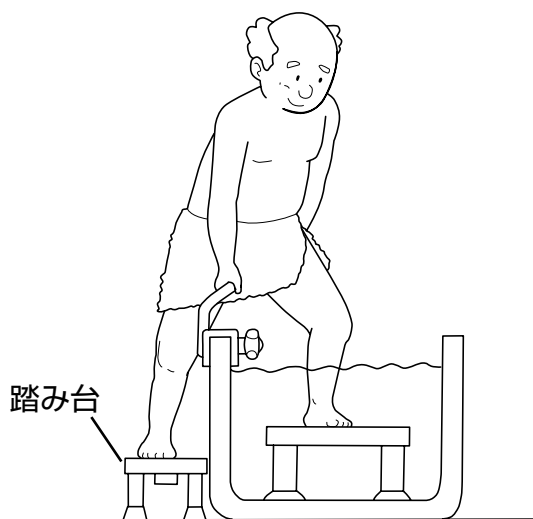
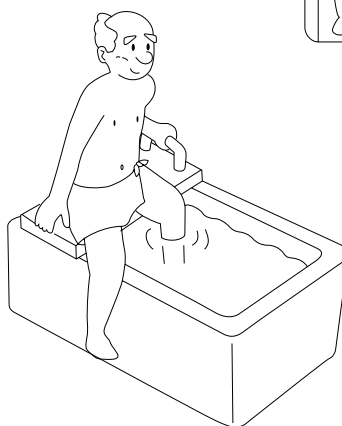
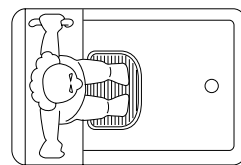
※必ず浴槽内でのみご使用ください。
※ご使用になる前に必ず吸盤がしっかり固定されているかご確認ください。

1 浴槽のふちや手すりなどを必ず持って身体の安定を確認し、足を片足ずつゆっくりと浴槽台に移します。

2 浴槽台から片足ずつゆっくりと浴槽内に足を移し、静かに座ってください。

注意
動作は身体の安定を確認しながらゆっくり行うこと

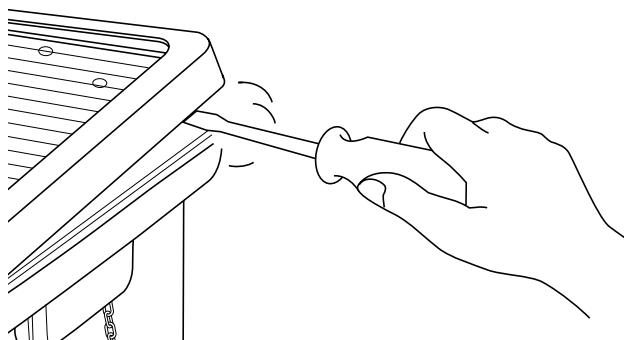
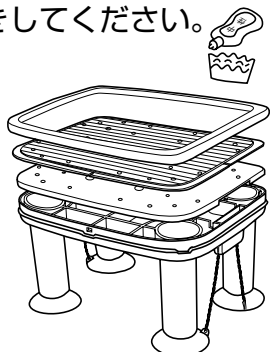
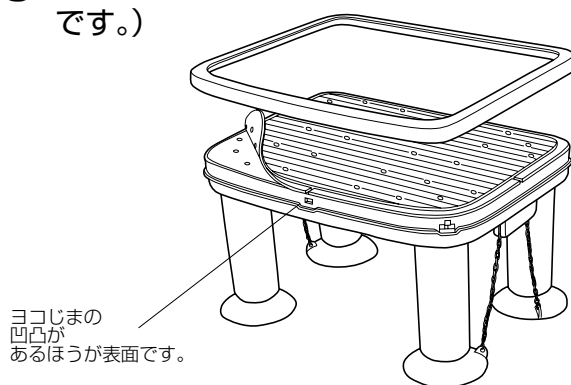
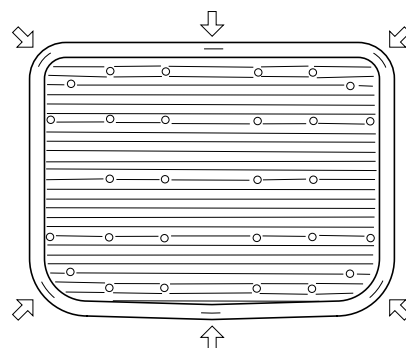
3 浴槽から出るときは、入るときと逆の手順で行ってください。

使いかた

※据え置き式の浴槽の場合は踏み台を洗い場に設置すると楽に入浴できます。

踏み台

※バスボードと併用する場合は、バスボードに座り、浴槽台に足を移してください。

※温泉や入浴剤の種類によっては、プラスチックの劣化や着色の原因になることがあります。ご使用の際には、ご注意ください。

お手入れの方法

1 赤色の固定枠を⊖ドライバー等を使って外し、シートと天面板を外します。（四隅から外すと簡単です。）

2 中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れやぬめりを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか乾いた布で空ぶきしてください。

3 正しい向きにシートを本体の上に置き、上から枠をはめ込みます。（四隅からはめると簡単です。）

4 固定枠の内側にある6つの出っ張りが、本体にきちんとはまっているか確認してください。

お手入れの方法

●シート・吸盤・ステンレスチェーン等は、代用品を使用すると危険です。紛失したり、劣化・破損した場合は新しい部品をお買い求めください。
●すべり止めシート等は長時間、水中や湿気にさらされると湯あか等でぬめりを生じることがあります。こまめにお手入れしてください。

⚠注 意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※必ず中性洗剤を使用すること
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。
※直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。
※熱湯をかけないこと
プラスチックが変形し、けがの原因になります。
※火気に近づけないこと